

平成 30 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 網屋 信介
(コード：9318 東証第 2 部)
問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎
(TEL. 03-5561-6040)

貸倒引当金繰入額（営業外費用）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期連結・個別決算におきまして、貸倒引当金繰入額（営業外費用）を計上することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金繰入額（営業外費用）の内容

当社は、持分法適用関連会社である Mabuhay Holdings Corporation（以下、「MHC」といいます。）および MHC の関連会社である Mindanao Appreciation Corporation（以下、「MAC」といいます。また、当該 2 社を総称して「MHC 等」といいます。）に対して当社が有する金銭消費貸付債権（MHC 向け 2 件および MAC 向け 1 件。以下、総称して「当該債権」といいます。）につきまして、合計で 150 百万円の貸倒引当金繰入額を営業外費用に計上することといたしました。

（経緯）

当該債権は、当初、香港企業 Join Capital Limited が MHC 等に対して有していたものを、平成 27 年 6 月 25 日、当社が総額 7,773 千米ドル（969 百万円）にて譲り受けを行いました。

その後、当社は MHC 等から随時回収を進めてまいりました。平成 30 年 3 月末までの回収金額（取得後に新たに発生した利息額の回収分を含む）は 742 百万円、同時点の未回収金額は 3,912 千米ドル（415 百万円）となりました。

当社は、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）において MHC 等からの元利金の弁済が滞ったため、MHC 等との間で交渉を行った結果、上記未回収金額のうち、2,500 千米ドル（265 百万円）につきましては、担保処分等により本日付で回収いたしました。しかし、本日時点の未回収金額 1,412 千米ドル（150 百万円）につきましては、本来が延滞債権であるという性質も鑑み、保守的に回収可能性を判断した結果、引当が必要と判断し、150 百万円全額を貸倒引当金繰入額として計上することを決定いたしました。

当該債権につきましては、今後も引き続き回収の努力を続けてまいります。

なお、回収金額の合計額 1,007 百万円は、取得額である 969 百万円を上回っております。

2. 今後の見通し

本件が平成 30 年 3 月期連結業績に与える影響につきましては、平成 30 年 5 月 21 日に開示予定の連結決算数値に反映させる予定であります。

以 上